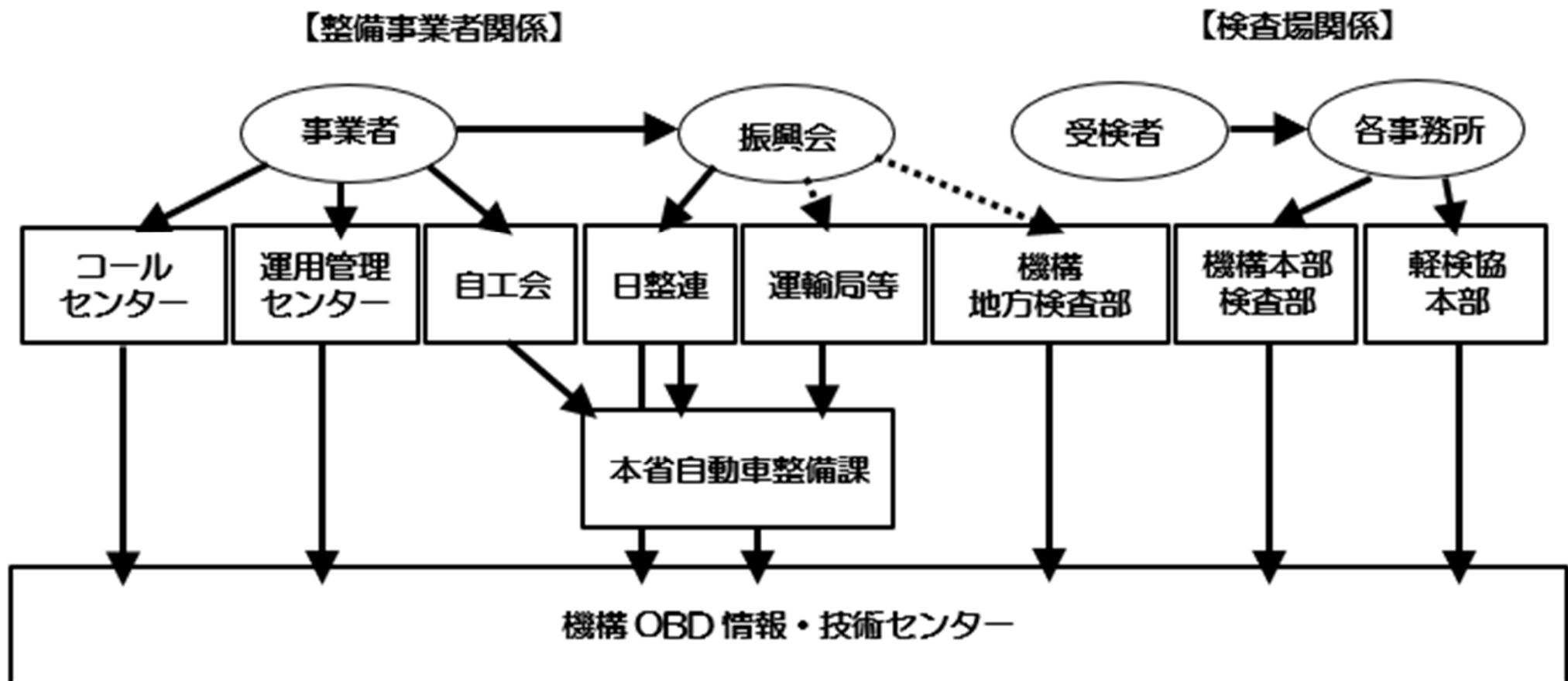


報告されている課題

報告されている課題の収集

- 令和6年10月1日から法令が適用となったOBD検査を通じて得られた課題について把握するため、整備事業者関係者及び検査場関係者から情報収集を実施。
- 情報収集フローは下図のとおりであり、独立行政法人自動車技術総合機構において一元的に課題を集約することとしている。

※情報収集期間：令和7年2月11日～令和7年5月13日



報告されている課題

システム関係

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	指定	● 検査用スキャンツールにおいて、<u>車両と診断機の接続順序を間違えると、OBD検査実施時に先に進まなくなってしまう。</u> ● 「<u>接続の順序違い</u>」によって検査に影響が出ないよう、検査用スキャンツールの<u>型式認定における接続方法の統一化</u>や、<u>診断機側ソフトの車両認識方法の規格化</u>などできないか。	● 車両とVCIの接続順序については、検査用スキャンツールによって異なるため、<u>各ツールメーカーの案内のとおり接続してください。</u> ● 接続方法等の規格化については、<u>検査用スキャンツールの大幅な改修を伴い、ツールメーカーの負担増ひいては価格への影響が大きい</u>ため困難です。
2	指定	● <u>OBD検査結果参照システムにOBD検査結果の履歴が反映されるまでの時間(通信速度にもよるが)が、「即反映」～「翌日」とタイムラグが大きい。10分程度で反映して欲しい。</u> ● OBD検査後、結果参照を行なったが、即時反映されておらず、<u>30分くらい後に反映されたことがあった。</u>	● OBD検査結果参照システムは、OBD検査用サーバーに記録された情報を表示します。 ● また、OBD検査用サーバーの情報は、OBD検査を行った瞬間に記録されているため、<u>ご指摘のようなタイムラグは発生しません。</u> ● なお、推定される原因として、PCブラウザのキャッシュが古いままであることが考えられるため、表示されない場合はキャッシュの更新を行う等、<u>PCでの対処をお願いします。</u>
3	指定	● OBD検査実行後に「適合」の表示がされるが、<u>データが送信されたかがわからない。</u> ● 検査結果を表示させるだけではなく、完了したことがわかるポップアップ等を表示させてはどうか。	● OBD検査の合否結果が表示された時点で、OBD検査用サーバーには必要な情報が送信されています。このため、ポップアップ等の表示は行いません。 ● <u>合否結果の表示をもって完了したと判断してください。</u>

報告されている課題

システム関係

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
4	指定	● <u>特定DTC照会アプリ内のトップ画面に、過去のOBD検査の適合判定履歴を表示して欲しい。</u> ※ 当該社では「OBD検査結果参照システム」を、「特定DTC照会アプリ」とは別のPCに入れているため、参照システムによる確認は不便である由) ● また、その際、「OBD検査」or「OBD確認」の別も含めて表示して欲しい。 ● 以上が表示されれば、検査の実施有無が直感的に分かるので、検査未実施が生じにくい。	● <u>特定DTC照会アプリにおいても、過去のOBD検査/OBD確認結果を確認可能です。</u> ● 「検査要否確認」の後に選択可能となる「<u>OBD実施履歴参照</u>」からご確認ください。 ● なお、トップ画面に表示させることは、画面構成を大きく変更させることとなり、却って混乱を招くおそれがあることから、慎重な検討が必要です。
5	振興会	● 検査員が誤って「OBD確認モード」でOBD検査を実施してしまうことを防止するため、特定DTC照会アプリの「利用者新規登録」において、<u>検査員ならOBD検査のみ、工員ならOBD確認のみ、両方行いたいなら検査員と工員の2つにチェックを入れる方式をとれないか。</u>	● 「OBD検査」と「OBD確認」の誤選択防止のため、令和7年8月にボタン配置等の変更を行うシステム改修を行います。 【資料3-1別紙】 ● 加えて、<u>OBD検査の未実施防止のため、日本自動車整備振興会連合会が提供する「保適証サービス(電子保安基準適合証システム)」との連携を予定しています。</u> 【資料3-1別紙】 ● <u>ご指摘の方式については更なるシステム改修が必要となるため、上記の改修等を踏まえて検討いたします。</u>
6	指定	● 「利用者」の登録と同様、「<u>管理責任者</u>」の登録でも<u>利用開始日・停止日を先に決めて登録できるようにしてほしい。</u>	● ご指摘を踏まえ、<u>システム改修を検討いたします。</u>

報告されている課題

制度関係

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
7	指定	● <u>板金修理後等に正しい処理が行われず、OBD検査不適合になる場合がある。(トヨタのウルトラソニックセンサーなど)。</u>	● <u>不適合要因のうち安全系の特定DTCとして最も多いのは通信途絶系のDTCであることから、板金修理後等に結線忘れがないかしっかり確認する、作業後にDTCの消去を行うといった、適切な整備を行っていただくようお願いいたします。</u>
8	振興会	● <u>「純正スキャンツール」を専業整備事業者でも安価で購入・レンタルができるようにしてほしい。</u> ● <u>「第29回自動車整備技術の高度化検討会」で具体案が出来つつあるが、早急に結論を出し、実行していただきたい。</u>	● <u>専業事業者への純正スキャンツールの提供については、道路運送車両法において自動車製作者等の義務となっているため、課題があれば情報提供をお願いします。</u> ● <u>なお、純正スキャンツールを購入・レンタルしやすい環境の整備に向け今年度の実態調査を行う予定です。</u> https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001895363.pdf
9	振興会	● <u>令和7年10月1日からは、輸入車に対するOBD検査が開始されるため、その周知活動を早い時期から念入りに行って頂きたい。</u>	● <u>国土交通省HPにおいて、自動車ユーザーに向けてOBD検査を説明するページを設けるとともに、今般、新たに作成した英語版のチラシを含め、周知用チラシ等を掲載していますのでご活用ください。</u>
10	振興会	● <u>輸入車に対するOBD検査の結果、特定DTCが検出された場合の調整・整備等に必要な情報が、一般の専業事業者においても容易かつ確実に入手できる体制になっているか。</u>	● <u>専業工場等への整備情報の提供については、容易に入手できる方法により行うよう、道路運送車両法において自動車メーカーや輸入車インポーターに義務づけています。</u> ● <u>もし提供されないなど問題があれば、当該自動車メーカー等に対し適切に対応するよう指導しますので、情報提供をお願いいたします。</u> ● <u>なお、整備マニュアル等の提供について、今年度の実態調査を行う予定です。</u> https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001895363.pdf

報告されている課題

その他

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
11	指定 振興会	● 検査用スキャンツールの「バージョン情報」等の確認に手間がかかり負担である。 ● 使用中のバージョンが機工協が公表する「型式認定一覧」から外れていたら不適合と言われているが、それならばもっと「バージョン情報」等を見やすくして欲しい。	● 「バージョンの管理が煩雑である」との意見はこれまでもいただいており、以下の改善を検討中です。 ① 所定のバージョン以上であれば、認定機であるとする「<u>上位互換</u>」の考え方を導入する。(「OBD検査システム・検査用スキャンツール技術連絡会」で大筋合意しており、詳細運用について調整中) ② ①の改善後、その結果を踏まえ、要すれば、機工協が作成する「型式認定一覧」の見やすさを改善
12	指定 振興会	● 検査用スキャンツールの借用に係る「使用台帳管理」の記載にあたり、機工協が公表する「型式認定一覧」が見辛い。 ● 特に、①<u>その他特筆事項の「No.〇〇に同型式の記載有」の記載に気づきづらい</u>、②<u>メーカー別にソートされていないため探しづらい</u>。	● ご指摘を踏まえ、機工協が公表している検査用スキャンツール一覧表について、ソート可能となるようExcel形式での掲載も行います。なお、ソート等の編集行為については、作業される方の責任において行ってください。 ● また、検査用スキャンツールの販売状況等の更新を再開し、国土交通省HP等に掲載しますのでこちらも併せてご確認ください。【参考資料2】

報告されている課題

その他

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
13	指定	● 本社サービス部では、随時「OBDポータル」ホームページの「重要なお知らせ」の情報更新がないか確認している。 ● <u>統括管理責任者や管理責任者へ更新情報を個別にお知らせすることはできないか。</u>	● 「重要なお知らせ」のうち「<u>システム停止に関わる事項</u>」(システム障害やシステムメンテナンスによるもの)は、統括管理責任者及び管理責任者あてに<u>メールの一斉送信を実施しております。</u> ● その他の事項については、システム負荷を踏まえ、現状、対応が難しいですが、<u>ニーズを踏まえ検討いたします。</u>
14	指定	● OBD検査ポータルの動画リンク「<u>5 OBD検査の実施</u>」中、アプリを操作する動画において、<u>車両選択等は「OBD検査モード」で行っているのに対し、検査要否確認は「OBD確認モード」になっている。</u> ● OBD検査を行っているのかOBD確認を行っているのか分かりにくいので動画の修正又は注釈等の追加をできないか。	● ご指摘を踏まえ、<u>次回の動画更新時に修正します。</u>
15	指定	● デンソー社「DN-VIM-101」を使用中、『<u>お使いの検査用スキャンツールは認定されていない可能性があります</u>』のメッセージが表示された。OBD検査ポータルサイトのFAQに対処法を記載してほしい。 ● 土日はメーカーが休みになり、接続手順について確認ができないため。	● <u>当該メッセージが表示された場合の対処は、OBD検査ポータルのFAQに掲載済みです。</u> https://www.obd.naltec.go.jp/faq/list/qa7731/ ● また、ご指摘の機器における詳細な対処法については、<u>デンソーHPまたは取扱説明書等をご確認ください。</u>